

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回福津市エコショップ推進委員会
開催日時		令和6年8月8日（木）14:00～16:00
開催場所		福津市役所本館2階 中会議室
委員名		（1）出席委員 占部 克明、鈴木 亜希子、吉住 英信、 原 修一、木村 真知子、長濱 幸一
所管課職員職氏名		市民共働部うみがめ課 うみがめ課長 芹野 眞里子 うみがめ課主幹 堤田 達也 環境づくり係長 権現 陽子 環境づくり係 中村 千聖
（ 会 議 ）	議 題 （内 容）	・議題1 令和5年度福津市エコショップ認定事業 所実績の報告について ・議題2 令和6年度福津市エコショップ更新認定 について ・議題3 今後の方向性について
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1人
	資料の名称	・会議次第 ・令和5年度 福津市エコショップ認定事業所実績 の報告について ・令和5年度福津市エコショップ実績報告書 ・令和6年度 福津市エコショップ更新認定事業所 の認定について ・令和6年度 福津市エコショップ更新認定申請事 業所一覧 ・エコショップ認定事業所一覧(カテゴリごと) ・福津市エコショップ認定制度の在り方について (諮問)
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
		<input type="checkbox"/> 要点記録
		記録内容の確認方法 会長による署名・押印
		署名 ㊟
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

○開会のことば

○委嘱状交付

○会長・副会長の互選

○会長・副会長挨拶

○事務局自己紹介

○会議録確認

占部会長 福津市付属機関の会議の公開に関する要綱第9条第2項の規定により、会議録確認を鈴木副会長に依頼。

○委員会成立宣言

占部会長 委員7名のうち6名出席にてエコショップ委員会規則第5条2項の規定により本日の委員会が成立。

○会議公開の了承確認

傍聴 1名

○審議

事務局 議題1について説明
令和5年度福津市エコショップ認定事業所実績の報告について

占部会長 議題1について質問やご意見はあるか。

なし

事務局 議題2について説明
令和6年度福津市エコショップ更新認定について

占部会長 議題2について質問やご意見はあるか。

長濱委員 実績報告を出していない事業者は認定取り消しになるのか。

事務局 取り消しにはならない。

議題2 令和6年度福津市エコショップ更新認定について

全員異議なし 承認

事務局	<p>議題3について説明 今後の方向性について エコショップ認定制度の在り方について（諮問）</p> <p>(パワーポイントにてこれまでの歴史を説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち上げ当初から目的が変遷している ・ 当初の目的→ごみ減量 現在→省エネ、持続可能な循環型社会構築や地球環境保全、やさしいライフスタイルの確立 が追加
占部会長	<p>エコショップが始まってから何かデータ的に変わってきたものはないのか。ゴミの量が減ったとか、何か効果はあったのか。</p>
事務局	<p>エコショップは周知啓発をする事業であったため、数値等で効果を図っていない。人口が増え、ごみの量も増えている。</p>
吉住委員	<p>エコショップの立ち上げの時から推進委員をしているが、最初のごみ減量の目的に戻した方がいいと思う。</p>
木村委員	<p>ごみと言っても種類がいろいろある。この目的の場合是一般廃棄物なのか、事業ごみなのか。</p>
吉住委員	<p>最初は事業所に向けた取り組みだった。</p>
事務局	<p>事業所ごみの有料化とエコショップの始まるの時期が被っているため、事業所ごみを減らしてもらおうという目的だった。</p>
長濱委員	<p>目的が不思議だったが、今の説明で納得できた。 福津市の特徴は小売店以外の多さ。これがある意味強みにも曖昧なものにもなるため、それをどう整理するかが課題。 みんなまとめて入ってもらうというやり方なのか、もう少し限定していくか、理念のところから整理しなおす必要がある。 他市と比べると、飲食業の参加が少ないという課題をどうするか。市ができることと、業者ができること、一般の消費者ができることを整理して、運営を変えてみるのもいいのかなと思う。</p>
占部会長	<p>最初は自分もエコショップに入っていた。製造業をしているが、なかなか項目に当てはまらず、ピンとこなかった。 今商工会は1000ちょっとの会員がいるが、その中で入っていない会員が結構多い。</p>
原委員	<p>環境保全という観点もいれないといけないのか。</p>
事務局	<p>最初のごみ減量だけだったが、今は環境保全も含んだ壮大な目標になっているため、目標をどこにするのかというのを立ち返る必要がある。</p>

原委員	ごみ減量に関しては協力しているが、環境保全の観点が入ってくると頭がこんがらがる。
吉住委員	ごみ減量だけでいい。
事務局	エコショップという制度をどうするのか、目的をもう一度見つめなおして制度を変えていくのかというのを悩んでいる。エコショップの今のやり方だと、ごみ減量以外は分かりづらい。
木村委員	環境保全を掲げるのは悪くないが、それを何で評価するのか。せっかくするんだったら、わかりやすい成果が見える形が良い。そうなるとごみ減量は一番シンプル。
事務局	ごみ減量も、実際に量ってもらう手間を事業者を求めるのは厳しい。あまり事業者に負担はかけたくない。気持ちとしてできることに取り組んでもらうのか、効果を図るところまで求めるのか、取り組みによって変わってくる。
吉住委員	ごみ減量に協力したところがエコショップなのか、環境保全に協力したところがエコショップなのか。
事務局	環境問題でもごみ減量でも何か一つ取り組んでもらえればいい。要綱もこの10年間で何回も改正されてきた。
木村委員	業種によって、リサイクル関係の法律はあると思うので、わざわざ「エコショップ」として取り組まなくても、既にとりくんでいる業種もあるのではないかな。
吉住委員	実際にすでに取り組んでいる事業者もある。
占部会長	市としての方向性はないのか。
事務局	別媒体を活用するなどして、エコショップに入っているのメリットが必要だと思う。
原委員	エコショップ推進委員をしてきて、ごみ減量化への意識がついた。市民にも、小さいことからこつこつするという意識付けができればいいと思う。
事務局	市民が意識を持つということはすごく大事なことだと思うが、この10数年周知啓発を続けてきて、エコショップの取り組みを知らない市民はたくさんいる。そこで、どうすれば意識してもらえるのか、行動変容の一步としてメリットがあるというのはすごくわかりやすい。

長濱委員	企業のいい取り組みを、ほかの企業にお知らせするというのもあると思うが、それは企業内での改善であって市民には伝わりにくい。ゴールをどこにするのかを議論していく必要がある。
事務局	市の計画としては、二年間で方向性を煮詰めていきたいというのがある。今日は、委員の皆さんの疑問点とか思いを聞かせていただければと思う
木村委員	事業所のメリットという点で言うと、ごみを減量した時に明らかに処理費用が安くなる。企業努力によって削減しやすい業種もあれば、そうでないところもある。飲食だと目に見えてわかりやすい。
占部会長	エコショップが始まったころと比べて、それぞれの事業者で意識は高まっている。そうすると、わざわざエコショップという必要がない。
事務局	ごみ減量に関しては、企業努力である程度の高まりを見せているので、エコショップの当初の目的はある程度達成したと言える。
吉住委員	平成13年と比べると、ごみが減っている実感はある。イオンやゆめマートはごみではなく、生ごみのリサイクルの方で持っていったりもしているので、意識は変わっている。
鈴木副会長	リサイクルは数値化が図れると思っている。 リサイクルしてどのぐらいCO2削減ができたかという証明書を市から出してもらえるとかな。
事務局	どうすれば市が事業所の削減量がわかるのか。
鈴木副会長	リサイクル関係の企業は数値化ができるようにしている。 市として、ゼロカーボンの観点でそのような数値は必要だったりするのか。
事務局	そこまでの議論には及んでいないが、福津市の場合、住宅中心なので事業所をお願いしてもそれほど差が出ない。 どうすれば負担なく数値化ができるか、何かいい方法があればいい。
吉住委員	ある企業にごみの数量報告を出してほしいと言われたが、手間がかかるので断った。ある飲食店が、ご飯をよそう方法を機械式に変えてごみの量がかなり減った。そのような例がごみ減量ということなのかなと思う。

鈴木副会長	最初の目標の「事業所ごみを減らす」のごみは何を指しているのか。
事務局	最初は可燃と不燃しか事業所ごみにはなかった。捨て方も雑だったので、その辺の意識を変えるというのは確かにあった。それをまず分別して、可燃ごみは有料化した袋に入れることから始まった。
吉住委員	今では絶対にはないが、段ボールも紙もプラも全て可燃ごみに入っていた。今は紙は紙、段ボールは段ボール、ペットボトルはペットボトルなどで分けられるようになっている。
占部会長	そういうことであればすでに目標は達成している。
事務局	どういう方向性があるのか、提案できるものがあれば次回紹介したい。
令和6年度第1回福津市エコショップ推進委員会終了	